

令和2年度 大阪府立福井高等学校 第1回学校運営協議会

日時：令和2（2020）年7月16日 午後2時00分～午後3時30分

場所：本校1階校長室

構成員：

<協議会委員>

勝部 幸	元府立高等学校長
武本 和泉	本校PTA会長
米澤 恵子	元茨木市立小学校長
塩田 寛	（福井地区自治振興会 会長）
福田 正幸	（茨木市健康福祉部 支援員）
橋長 克雅	茨木市立豊川中学校長（「福井高校を育てる会」会長）

<事務局>

原田 信尚	教頭
坂本 丞平	首席
太田 真希子	首席
砂田 瑞貴	教務部長
中川 誠寛	生徒指導部長
曾根 康介	進路指導部長
岡本 澄	地域連携主担
内田 正俊	校長

配付資料：

- ・学校経営計画及び学校評価について（資料1）
- ・福井高校の数字について（資料2）
- ・入学者選抜および退学者数について（資料3）
- ・入学者の状況と本校の位置について（資料4）
- ・37期生の新入生アンケートより（資料5）
- ・生徒指導の状況について（資料6）
- ・部活動加入状況について（資料7）
- ・進路状況について（資料8）
- ・人権教育方針および実施計画について（資料9）
- ・多文化共生プロジェクトについて（資料10）
- ・地域連携活動報告について（資料11）
- ・総合学科推進会議報告について（資料12）
- ・広報活動方針および中間報告について（資料13）
- ・Yプロ年間計画について（資料14）
- ・2019年度ドリカム授業概要（1・2年）について（資料15）

内容：

1 校長あいさつ

2 運営協議会委員・事務局員紹介

勝部 幸氏を会長、米澤 恵子氏を副会長
に全会一致で選出。

3 事務局より報告

(1) 「学校経営計画・学校評価について」、「福井高校の数字」、
「入学者選抜と入学者」

- ・学校経営計画及び学校評価について（資料1）
- ・福井高校の数字について（資料2）
- ・入学者選抜および退学者数について（資料3）
- ・入学者の状況と本校の位置について（資料4）
- ・37期生の新入生アンケートより（資料5）

(2) 「卒業生」と「在校生」の活動に関して

- ・生徒指導の状況について（資料6）
- ・部活動加入状況について（資料7）
- ・進路状況について（資料8）
- ・人権教育方針および実施計画について（資料9）
- ・多文化共生プロジェクトについて（資料10）

(3) 「様々な活動の報告と今後の予定」

- ・地域連携活動報告について（資料11）
- ・総合学科推進会議報告について（資料12）
- ・広報活動方針および中間報告について（資料13）
- ・Yプロ年間計画について（資料14）
- ・2019年度ドリカム授業概要（1・2年）について（資料15）

4 校長より

「学校教育計画について」

従前の流れを汲みつつも、「夢・発見・実現」の合言葉を入れて再考、再構成した。

キャリア教育では、総合学科らしい授業をし、多様な進路につなげて、「総合学科」で良かったとしていきたい。今年の進路情勢は厳しいが、地元自治会の応援もあり、近くに進出される大手企業からも求人いただくなど、良い内容もあるので、頑張っていきたい。

生徒支援、生徒指導では、「安全で安心」をがんばり、過ごしやすい学ぶ環境を作りたい。地元とのつながりでは、茨木市がキャリアパスポートの取組みの先進地域なので、その成果を吸収して発展させたい。

「学校教育自己診断アンケート等より」

去年の反省としては、生徒の考えと教員が思っていることとの乖離が大きいことがある。たとえば、卒業した3年生のアンケートで、「総合学科でよかった」の数値が高い(93%)、割に、総合学科の取組みとして、いろいろ工夫しているつもりで教員(授業)に対する生徒評価が低い。結果「満足」なので、途中の低評価は「しんどかった」ということかもしれないが、プロセスについては不満があると考え、この差は縮めていきたい。

「入学者数、転・退学・欠席者数」

残念ながら、今年度の入学者は大幅減。定員を大きく割った。転・退学者の数・率についても、一定は下がったが、不十分な状態。休みが多い生徒(年30日以上)が55名と、前年に比べて大幅増であったことと比べれば、よく引き留めて進級・卒業させたともいえるが、もっと学校に来たいと思わせないといけない。

「今年度の特徴を表す数字」

今年度の本校の様子を示す数字を2つ紹介。前年6.0%が今年8.4%へ。コスモス生(日本語指導が必要な生徒)の比率が上がった。年々上昇しており、やがて10%を超えそうな勢い。日本語指導の特別入試の枠を超えて、一般入試や転校などでの入学者も多数いる。一般入試の入学者の大半が地元(自転車40分圏内)であるのに対して、大阪市内からなど学校から遠いところから分散して来ている生徒が大多数。彼らは、母国から遠く隔てられているに加えて、せっかく馴染みはじめた地域からも切り離された形で通学しているので、同じ境遇の仲間と出会える本校が楽しくて仕方ない。これが時に「はしゃぎすぎ」になって、地元生との間に溝を作ってしまう課題がある。みな、頑張っている生徒なのだが、はみ出すところをどう包んでいくかが大きな課題。

「コロナ禍で良いきっかけをつかめていることもある」

年度当初は休校で大変だったが、コロナ禍を反転のきっかけにと努力している。コロナ禍による分散登校で、ゆっくりと学校を始めた良い影響か、6月の遅刻が前年比で大幅に減少している(時期補正・総人数補正をかけても30%程度の減少)。この様子を、夏休みはいるまで引き続けたい、保ちたいと考えて努力している。

「早速のSNSトラブル」

スマホの使い方・マナーの指導については、反対に例年より後手に回っている。「いいね」欲しさの困った写真や動画のUPもある。中には、授業後の休み時間や昼休み・放課後のことが、SNS上では「授業中」となっているなど、加工・脚色されたものも出回っているようで困ったことになっている。SNSの使い方指導、マナー指導が十分できないうちにLINEのグループなどが先に作られ、その後で学校始まった弊害は大きい。現在、それへの対応に追われているが、SNS上で福井高校の授業の荒れのように掲載されているという場面、少なくとも校長が、校内を見ている中では、そのような授業は見当たらないが、休み時間・放課後であっても、被写体への無断掲載やSNSへの掲載を意識した嘘・やらせ・脚色入りの写真・動画の撮影・加工は許されないことを指導している。

5 質疑応答

【進路指導について】

(委員)進路として、なぜ「専門学校」を選ぶ生徒が多いのか？

(学校)「美容」など興味を持って選ぶ生徒が多い。

【生徒指導について】

(委員)アンガーマネージメントなどを指導する授業やホームルームが必要かも、「自分が悪くないのに」という思いが残ってしまうのはよくない。

(委員)受け入れてやりつつも、生徒の暴力についての指導は絶対に引けない。これだけは、ダメだとわかってもらわないといけない。ただし、先生が体罰してないことが前提。先生方がしっかりしてれば、指導を踏み込んでいける。

【外国にルーツのある日本語指導が必要な生徒について】

(委員)外国にルーツのある生徒について、理解しようとする気持ちで接して、コミュニケーションができるようにしてもらえれば、ありがたい。

(委員)家庭教育の違いが大きい、保護者より「日本の先生は甘い」「分からなかったら叩いていい」と言われたことがあった。

(学校)生徒の状況を理解しつつも、「ダメなものはダメ」伝えないといけない。

(委員)ニュースなどで流れている国同士が対立することなどが、生徒に影響していないか？

(学校)ルーツが同じ国でも、生徒によりいろいろ個性がある。個々の生徒は互いに身近な存在であるので、人としてのやさしさなど学んでおり、今のところ国同士の対立が個々の生徒に及ぼす影響は大きくはない。

(委員)外国の文化に関するサークルなどはあるのか？

(学校)コスモスはクラブ活動扱いで、日本の生徒も入部している。

(委員)保護者をPTAに巻き込んで、保護者の連携を作るのも一つの方法である。その際、日本の文化を押し付けてはいけない。

(学校)先日PTA主催で「多文化共生」の講演会を行った。残念ながら、外国にルーツをもつ保護者はいらっしやらなかったが、外国の文化の紹介や生徒の置かれている状況について伝えることができた。

【新型コロナ感染症に関する影響について】

(委員)地域との連携がコロナ禍の影響で行事が中止になるなどして、難しくなっているが、魅力ある成長した福井高校生の姿を小・中学校生に見せてもらうことをこれからもお願いしたい。

(委員)アルバイトなどができず、困っている生徒がでていいるのではないか？

(学校)そういう生徒もいるが、反対に、小学生のこどもさんがいるパートさんがこどものお世話で来られないことの代替でアルバイトが増えて、お金を持っている生徒も出てきている。一方で、飲食関係に従事されている外国ルーツの生徒の保護者などでは影響がきつくと、困り感が出ているところがある。弱いところにひずみが行く感じである。

(委員)新型コロナ感染症への対応のために、教員の負担が増えているのではないか？完全週五日制の頃から教員が疲弊していった感じがする。この機会に、業務の見直しをして省けるものは省いていったらよいのではないか。

(学校)業務は大変に増えている。土曜日授業をしても、休みの振替先がない。夏休みも短く、土曜日の振替先にはならない。コロナ対応の終わりも見えないことで、生徒も先生も心配な状態。せめて授業に連携させていける指導は、授業に落とし込むなどして、時間を効率的に使う工夫をしていく。

6 議決事項

- ・採択教科書の確認 → 了承

次回予定(案) 令和2年11月11日(水) 14時00分～ [校長室]